

令和4年度 学校自己評価システムシート（私立 立教新座高等学校）

目指す学校像：キリスト教に基づく人間形成を实践し、自由と自律を尊重する開かれた学校を目指す。
 重点目標：1 興味や関心を伸張して、自主的にテーマを持って真理を探究する力を養う。
 2 グローバルリーダーにふさわしい国際感覚を備えた人物を育成する。
 3 他者を尊重し、学校生活を通じて共に成長する他愛に満ちた人格を育む。

達成度：A ほぼ達成（8割以上） B 概ね達成（6割以上） C 変化の兆し（4割以上） D 不十分（4割未満）
 学校関係評価：学校関係者 9名 生徒 0名 事務局（教職員）4名

学 校 自 己 評 価				学校関係者評価		
年 度 目 標		年 度 評 価 （ 3 月 3 1 日 現 在 ）				
番 号	課 題	課題に対する取り組み	達成状況	達成	次年度への課題と改善策	
1	・一貫連携教育の充実	・立教大学教員によるプログラムの継続と充実 ・特別聴講生制度やGLP受講制度の継続と充実	・大学キャリアセンターの協力を得て、高1キャリア教育実施 ・高1立教大学説明会、立大教員による特別授業 ・高2、高3学部学科説明会実施	B	・各種プログラムの継続と充実	<ul style="list-style-type: none"> ・高1のキャリア教育に興味深い。早い時期に進路選択を考える良い機会になっており高く評価する。付属校ならではの利点である。 ・高2・高3で実施の大学の学部学科説明会は、大学進路への動機付けとなり、高校生活の過ごし方を考えることにも繋がられている。 ・状況に応じた新たな制度を取り入れる姿勢は評価できる。これが生徒の取組への意欲向上に繋がることを期待する。 ・教職員が研修会に積極的に参加し見聞を広めていることに評価する。また研修会に参加できる校風に高く評価する ・心のケアは生徒だけではなく教職員にも一層の充実を望む ・学校主体の研修の実施を希望する。 ・救急救命講習の実施など緊急時の対応法を教職員に徹底している点は評価する。 ・人権教育などの研修プログラムが充実している点はよい。 ・部活動のコーチなどは外部委託できるのであれば促進すべきである。
	・卒業論文指導	・問題発見や課題解決、表現などの指導 ・指導や評価についての検討	・学院と協議を経て新ポイント制度導入(2023年度入学生から)		・指導や評価などに関して教育検討委員会等で継続審議	
	・教職員研修	・研修への参加奨励	・教科、部署等における研修に参加 ・学院主催ハラスメントに関するオンライン研修受講 ・働き方についての学院WGに本校教職員が参加		<ul style="list-style-type: none"> ・研修を受けやすい環境の整備 ・非常勤講師に対する救急救命講習の実施 ・緊急時の対応法を教職員へ徹底 ・「心のケアに関する」研修会の実施 ・AED講習会実施 	
	・教育環境の整備	・施設を用いた学習活動の確立 ・School Passの積極的運用 ・ICT環境整備に向けて準備 ・各施設・設備・安全および老朽化対策	<ul style="list-style-type: none"> ・教務新システムBLENDの活用 ・School Passの積極的利用 ・高校HR教室のプロジェクト更新・電子黒板設置 ・学部学科決定作業新システム活用 ・施設・設備・安全および老朽化対策（サッカー場等外灯LED化、3号館オープンスペース改修、本館上層階教室全熱交換器設置、野球場簡易整備） ・ICT環境整備（ICT支援員継続配置、グラウンドWi-Fi増設） 	<ul style="list-style-type: none"> ・新教務システムBLENDの利用拡大 ・教職員会議資料ペーパーレス化 ・高3選択決定作業新システム導入 ・ICTの環境整備（本館・3号館ネットワークコアスイッチ更新） ・施設・設備・安全及び老朽化対策（3号館避難器具交換、体操場競技用ゆか改修、体育館床メンテナンス、野球場簡易整備） 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校からの連絡がschool passで発信されているため、受け取る側とのタイムラグがなく便利である。利用を促進して欲しい。 ・ICT支援員の指導に今後も期待したい。 ・授業の進め方や課題の提出方法等、学習方法が変化している。時代に即した教育がなされている。 ・施設の老朽化対策は生徒の安全のため積極的に取り組んで欲しい。 	
2	・人権教育やボランティア活動	・人権教育の継続や実施可能なボランティア活動の推奨 ・立教大学ボランティアセンターとの相互連絡 ・いじめ・ハラスメント問題の啓蒙活動	<ul style="list-style-type: none"> ・人権週間(6月)に各学年担当者がチャペルアワーで講話 ・学年ごとにテーマを決め人権教育実施(1学期末、高3のみ2学期末) ・いじめアンケートを年2回実施 ・教職員人権研修会実施(9月) 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育の継続や実施可能なボランティア活動の推奨 ・立教大学ボランティアセンターとの相互連絡 ・いじめ・ハラスメント問題の啓蒙活動 ・教職員人権研修会実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめアンケートの実施を評価する。継続を望む。生徒の変化にすぐに対応して欲しい。 ・立教大学ボランティアセンターとの相互連絡による高校生が活動主体となるボランティア活動カリキュラムの進展を望む。 ・人権教育の内容を家庭でも話ができるよう保護者に情報共有を望む。 ・礼拝は心を育む時間となるため、高校の任意参加は残念である。 ・情報リテラシー教育が全学年になされていることを評価する。更にICT支援員の協力を得られることを希望する。 ・留学制度経験者から生徒が体験談を聞く機会があるとよい ・グローバル教育が学校全体に広がることを希望する。 ・立教新座独自のグローバルリーダーシップ教育に期待する ・部活動の制限にとらわれずに短期留学に行けるシステムを望む。
	・情報リテラシー教育	・インターネットの安全な利用やマナーの指導	・全学年、外部講師による講演会を実施		・講習会の継続	
	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル教育 ・リーダーシップ育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校のグローバル教育の推進 ・派遣留学校（長期2名、短期2名）及び留学生受入校との良好な関係維持 ・リーダーシップ教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・留学生(長期米国、短期英国)の派遣 ・文化部体育別にリーダーシップ研修実施 ・リーダーシップ育成PT主催による講演会実施 ・高2校外研修旅行における高1への発表活動 		<ul style="list-style-type: none"> ・将来に向けたグローバル教育の立案策定 ・リーダーシップ育成計画再検討 ・留学生(長期短期共)派遣実施 ・留学生(米国)受け入れ 	
3	・学校生活の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・学友会活動のサポート ・多様な進路に対する支援 ・スクールカウンセラーとの連携 ・特別支援教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・高1キャリア教育実施 ・生活のアンケートを各学期に実施。心配な生徒については、その後担任面接、さらにはスクールカウンセラー等の面接実施 ・特別支援教育委員会主催の講演会を実施 ・特別支援対象の生徒のスクリーニングの実施 ・学校活動の可視化—広報誌web化・Facebook・Instagramの充実 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会や同窓会との連携強化 ・広報活動の充実 ・特別支援教育の問題点の顕在化 ・保護者会セントボール会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校活動をタイムリーに発信していることに評価する。しかし、それを知らない保護者が多くいるので、取り組みを紹介する機会があるとさらに良い。 ・カウンセラーとの更なる連携強化を期待する。 ・全体の課題作成について、成果が出にくいものを掲げ、粘り強く複数年に渡って取り組むのがあってもよい。 ・目指す学校像についてをもう少し具体的な課題や取組として現しても良いのではないかと。